

まとめ

- 被害体験による感覚系入力脳領域を特異的に修飾する可能性
- 視覚野の変成は、脳可塑性が高いとされる基礎研究に一致 (Hubel & Wiesel, 1998)
- 暴言虐待による上側頭回の肥厚は DTI解析での弓状束の変成と合致する。 (Choi, 2008)

性的虐待 暴言虐待 DV目撃

考えられるメカニズム

Are these brain abnormalities cause or consequence?

感覚野の過敏反応が起こる

過去のトラウマを想起すると神経シナプスが過剰に発火する! (Teicher et al. Neurosci Biobehav Rev, 2003)

繰り返されるトラウマの呼び起こし

- 嫌な記憶の思い出 (過剰な内部刺激の繰り返し)
- 神経伝達物質の過剰放出
- 脳変成・神経活動異常
- 脳構成細胞のネットワーク形成不全

考えられる成因

虐待で傷ついていく小児の脳

失調症
心因性聴覚

フラッシュバック
悪夢・視覚障害

聴覚野

視覚野

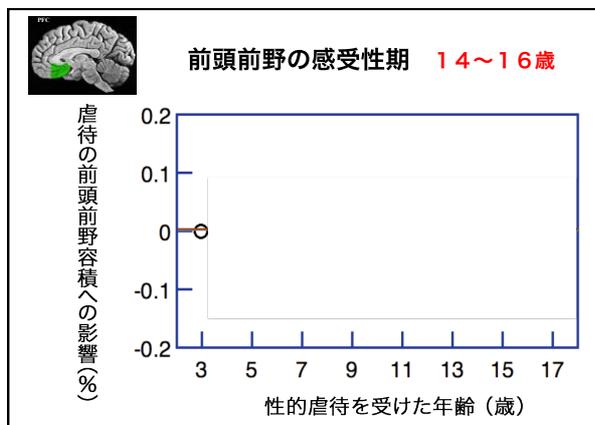
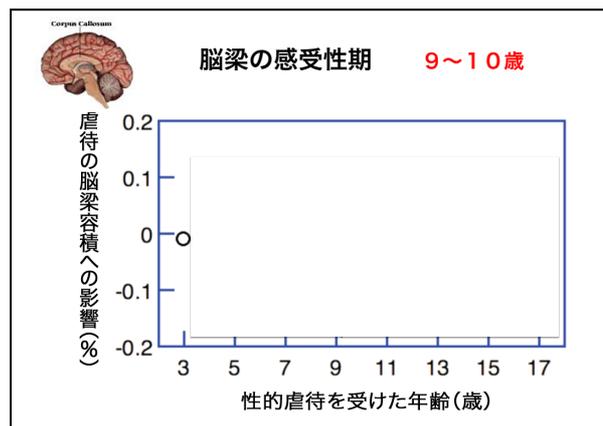
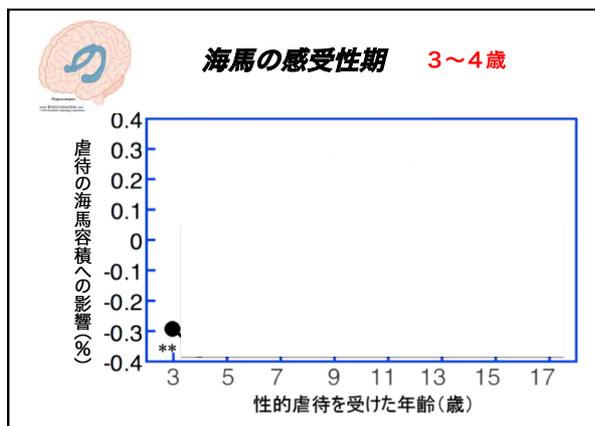
脳が過敏に反応して適応していく？

Sensitive Period

感受性期

仮説:
特定の時期に激しい精神的ストレスを受けると視覚野の発達が阻害される

Andersen & Tomoda et al.
J Neuropsych Clin Neurosci 2008



Sensitive Periods

感受性期

生後の脳発達において
活動依存的な”神経回路変化”が存在する

Andersen & Tomoda et al.
J Neuropsych Clin Neurosci 2008

被虐待児が”こころ”に負った傷は
簡単には癒やされない

↓

回復可能なうちに虐待を発見し
社会的な支援・治療を行っていくことが重要

de Lange et al. Brain (2008)
“Increase in prefrontal cortical volume following CBT
in patients with chronic fatigue syndrome”

”弾力性 Resilience”
ストレスを克服する力を脳科学する

ストレスへの抵抗力や対処の仕方、
精神的弾力性、回復力などを比較検討

ストレスと精神疾患発症の関連探る
(Suzuki & Tomoda)



心の絆(きずな)を育む発達行動科学の重要性:
健全な次世代に向けて



子ども達の笑顔を取り戻そう!



ご清聴ありがとうございました。